

令和2年10月1日作成

コンピュータチェック対象事例

ファイル仕様書

【試行的公開版】

令和2年10月

編集 社会保険診療報酬支払基金

# 目次

## 第1章 ファイル概説

1 コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）の構成等	
(1) ファイルの構造	2
(2) ファイルの利用方法	2
(3) ファイル間の相関関係	3

## 第2章 ファイル仕様

1 記録形式	6
2 ファイル構成	6
3 レコード形式	6
4 内容を表現する文字の符号	6
5 ユニークとなる項目の組み合わせ	6
6 ヘッダーレコードの情報表記仕様	7
7 データレコードの情報表記仕様	11

## 第3章 別表

別表1 チェック対象	20
別表2 チェック観点	20
別表3 参照範囲	21
別表4 根拠	21
別表5 変更区分	21
別表6 マスタファイル参照先区分	22
別表7 傷病名コード	23

## 第1章 ファイル概説

### 1 コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）の構成等

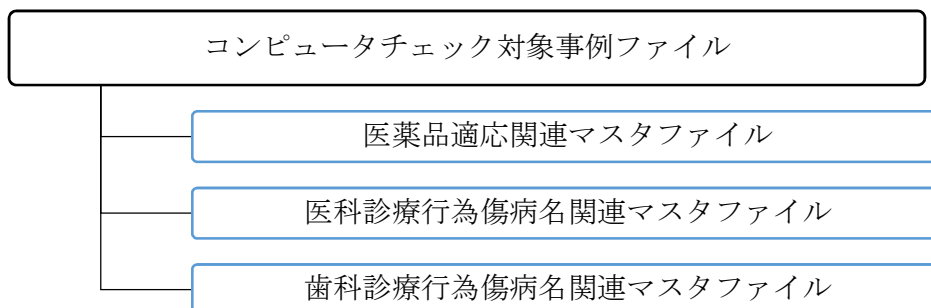
#### (1) ファイルの構造

コンピュータチェック対象事例（試行的公開版）は、以下のファイルで構成する。

項番	名称	内容
1	コンピュータチェック対象事例ファイル	医科（DPC）、歯科、調剤、医薬品及び特定保険医療材料に係るコンピュータチェック対象事例を1つのファイルに記録する。
2	医薬品適応関連マスタファイル	医薬品の適応となる傷病名、投与量および投与日数の上限値を表す。
3	医科診療行為傷病名関連マスタファイル	医科診療行為の適応となる傷病名を表す。
4	歯科診療行為傷病名関連マスタファイル	歯科診療行為の適応となる傷病名を表す。

#### (2) ファイルの利用方法

ファイルは、コンピュータチェック対象事例ファイルから、3つのファイル（医薬品適応関連マスタファイル、医科診療行為傷病名関連マスタファイル、歯科診療行為傷病名関連マスタファイル）を参照して使用する構成となっている。参照先は、コンピュータチェック対象事例ファイルのマスタファイル参照先区分（第3章の別表6）により決定される。



(3) ファイル間の相関関係

ア コンピュータチェック対象事例ファイルと医薬品適応関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	(中略)	事例コード	(中略)	マスタファイル参照先区分
622442701	ペンタサ顆粒9.4%		48IY00X201000		1

別表6 (抜粋)

マスタファイル参照先区分	参照先ファイル	ファイル名
1: 医薬品適応関連マスタファイル	医薬品適応関連マスタファイル	CM_IY_Tekio.csv

【医薬品適応関連マスタファイル】

医薬品コード	傷病名コード	性別	年齢下限	年齢上限	最大投与量	最長投与日数
622442701	0091015	0	000.00	999.99	4.24	999
622442701	5550004	0	000.00	999.99	3.18	999
622442701	5550006	0	000.00	999.99	3.18	999

<解説>

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスタファイル参照先区分」項目に値「1」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第3章の別表6「マスタファイル参照先区分」より「医薬品適応関連マスタファイル」となる。

「医薬品適応関連マスタファイル」の項目「医薬品コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」に設定されている値「622442701」により検索すると、傷病名ごとに設定されている最大投与量（この場合、3.18及び4.24）を確認できる。

イ コンピュータチェック対象事例ファイルと医科診療行為傷病名関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	(中略)	事例コード	(中略)	マスタファイル参照先区分
160010010	ヘモグロビンA1c (HbA1c)		48SIXX001XXX		2

別表6 (抜粋)

マスタファイル参照先区分	参照先ファイル	ファイル名
2: 診療行為傷病名関連マスタファイル	診療行為傷病名関連マスタファイル	CM_SI_Shobyu.csv

【医科診療行為傷病名関連マスタファイル】

医科診療行為コード	傷病名コード
160010010	2500001
160010010	2500013

<解説>

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の「マスタファイル参照先区分」項目に値「2」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第3章の別表6「マスタファイル参照先区分」より「医科診療行為傷病名関連マスタファイル」となる。

「医科診療行為傷病名関連マスタファイル」の項目「診療行為コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」に設定されている値「160010010」により検索すると、適応として設定されている傷病名コードを確認できる。

ウ コンピュータチェック対象事例ファイルと歯科診療行為傷病名関連マスタファイルの相関関係

【コンピュータチェック対象事例ファイル】

マスターコード	名称	(中略)	事例コード	(中略)	マスタファイル参照先区分
310000510	抜歯手術（1 歯につき）（埋伏歯）		48SS000040100		3

別表 6

マスタファイル参照先区分	参照先ファイル	ファイル名
3：歯科診療行為傷病名関連マスタファイル	歯科診療行為傷病名関連マスタファイル	CM_SS_Shobyo.csv

【歯科診療行為傷病名関連マスタファイル】

歯科診療行為コード	傷病名コード
310000510	2340021
310000510	2340221
310000510	2340321

<解説>

「コンピュータチェック対象事例ファイル」の「マスタファイル参照先区分」項目に値「3」が設定されている。

この場合、参照先ファイルは第3章の別表 6「マスタファイル参照先区分」より「歯科診療行為傷病名関連マスタファイル」となる。

「歯科診療行為傷病名関連マスタファイル」の項目「歯科診療行為コード」を、「コンピュータチェック対象事例ファイル」の項目「マスターコード」に設定されている値「310000510」により検索すると、適応として設定されている傷病名コードを確認できる。

## 第2章 ファイル仕様

### 1 記録形式

CSV形式とする。

### 2 ファイル構成

- (1) テーブル名とダウンロードファイル名の対応は第3章の別表6「マスタファイル参照先区分」のとおりとする。
- (2) ファイルを以下の2種類のレコードで構成する。
  - ・ ヘッダーレコード  
ファイルの先頭（第1レコード）に作成し、各項目の項目名を記録する。
  - ・ データレコード  
ファイルの第2レコード以降に作成し、各テーブルのデータを記録する。

### 3 レコード形式

- (1) レコード形式は可変長レコードとし、各レコードの末尾には改行コードを入れる。
- (2) レコード内の各項目間は、カンマ「,」で区切る。
- (3) 各項目の値は、モード（「漢字」、「英数」及び「数字」）にかかわらず、引用符「"」（ダブルクォーテーション）を前後に付す。

### 4 内容を表現する文字の符号

内容を記録する文字の符号は、シフトJISによるものとする。

ただし、診療報酬点数表の告示名等を引用しているため、以下の機種依存文字を含む場合がある。

- ・ ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）等

### 5 ユニークとなる項目の組み合わせ

ユニークとなる項目の組み合わせは次のとおりである

項番	ファイル名	キー項目
1	コンピュータチェック対象事例ファイル	マスターコード、事例コード
2	医薬品適応関連マスタファイル	医薬品コード、傷病名コード、性別、年齢（下限）、年齢（上限）、参照範囲
3	診療行為傷病名関連マスタファイル	診療行為コード、傷病名コード
4	歯科診療行為傷病名関連マスタファイル	診療行為コード、傷病名コード

6 ヘッダーレコードの情報表記仕様

(1) コンピュータチェック対象事例ファイル

項番	形式			内容
	モード	最大 バイト	項目 形式	
1	漢字	14	固定	“マスターコード”を記録する。
2	漢字	4	固定	“名称”を記録する。
3	漢字	12	固定	“チェック対象”を記録する。
4	漢字	12	固定	“チェック観点”を記録する。
5	漢字	12	固定	“チェック内容”を記録する。
6	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。
7	漢字	12	固定	“医科点検対象”を記録する。
8	漢字	14	固定	“DPC点検対象”を記録する。
9	漢字	12	固定	“歯科点検対象”を記録する。
10	漢字	12	固定	“調剤点検対象”を記録する。
11	漢字	4	固定	“根拠”を記録する。
12	漢字	12	固定	“チェック根拠”を記録する。
13	漢字	10	固定	“事例コード”を記録する。
14	漢字	10	固定	“公開年月日”を記録する。
15	漢字	8	固定	“変更区分”を記録する。
16	漢字	18	固定	“マスタファイル参照先区分”を記録する。
17	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備2”を記録する。
18	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備3”を記録する。
19	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備4”を記録する。
20	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備5”を記録する。



## (2) 医薬品適応関連マスタファイル

項番	形式			内 容
	モード	最大 バイト	項目 形式	
1	漢字	12	固定	“医薬品コード”を記録する。
2	漢字	6	固定	“傷病名コード”を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備1”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備2”を記録する。
5	漢字	4	固定	“性別”を記録する。
6	漢字	12	固定	“年齢（下限）”を記録する。
7	漢字	12	固定	“年齢（上限）”を記録する。
8	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備3”を記録する。
9	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備4”を記録する。
10	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備5”を記録する。
11	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備6”を記録する。
12	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備7”を記録する。
13	漢字	16	固定	“最大投与量”を記録する。
14	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備8”を記録する。
15	漢字	18	固定	“最長投与日数”を記録する。
16	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備9”を記録する。
17	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備10”を記録する。
18	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備11”を記録する。
19	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備11”を記録する。
20	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備13”を記録する。
21	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備14”を記録する。
22	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備15”を記録する。
23	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備16”を記録する。
24	漢字	8	固定	“参照範囲”を記録する。

## (3) 医科診療行為傷病名関連マスタファイル

項番	形式			内 容
	モード	最大 バイト	項目 形式	
1	漢字	14	固定	“医科診療行為コード”を記録する。
2	漢字	6	固定	“傷病名コード”を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備1”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備2”を記録する。
5	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備3”を記録する。
6	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備4”を記録する。
7	漢字	12	固定	“年齢（下限）”を記録する。
8	漢字	12	固定	“年齢（上限）”を記録する。
9	漢字	4	固定	“性別”を記録する。
10	漢字	8	固定	“入外区分”を記録する。
11	漢字	8	固定	“疑い病名”を記録する。

## (4) 歯科診療行為傷病名関連マスタファイル

項番	形式			内 容
	モード	最大 バイト	項目 形式	
1	漢字	14	固定	“歯科診療行為コード”を記録する。
2	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備1”を記録する。
3	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備2”を記録する。
4	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備3”を記録する。
5	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備4”を記録する。
6	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備5”を記録する。
7	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備6”を記録する。
8	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備7”を記録する。
9	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備8”を記録する。
10	漢字	6	固定	別に変更するまでの間、“予備9”を記録する。
11	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備10”を記録する。
12	漢字	12	固定	“傷病名コード”を記録する。
13	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備11”を記録する。
14	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備12”を記録する。
15	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備13”を記録する。
16	漢字	10	固定	“歯式コード”を記録する。
17	漢字	8	固定	“顎区分”を記録する。
18	漢字	8	固定	“ブロック区分”を記録する。
19	漢字	8	固定	“乳歯・永久歯区分”を記録する。
20	漢字	8	固定	“歯種区分”を記録する。
21	漢字	8	固定	“支台歯区分”を記録する。
22	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備14”を記録する。
23	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備15”を記録する。
24	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備16”を記録する。
25	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備17”を記録する。
26	漢字	8	固定	“点検方法”を記録する。
27	漢字	8	固定	“歯数下限”を記録する。
28	漢字	8	固定	“歯数上限”を記録する。
29	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備18”を記録する。
30	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備19”を記録する。
31	漢字	8	固定	別に変更するまでの間、“予備20”を記録する。

7 データレコードの情報表記仕様

(1) コンピュータチェック対象事例ファイル

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
1	マスターコード	英数	14	可変	1 レセプト電算処理のマスターコードを表す。 2 厚生労働大臣が定めるオンライン又は光ディスク等による請求に係る診療(調剤)行為コード、医薬品コード及び特定器材コード等を表す。 3 当該項目の値は省略しない。 4 別に変更するまでの間、モードを「数字」、最大バイトを「9」、項目形式を「固定」とする。 5 当該項目を第1ソートキーとする。
2	名称	漢字	300	可変	1 項番1のマスターコードに対応する名称を表す。 2 当該項目の値は省略しない。 3 最大150文字まで設定する。
3	チェック対象	漢字	20	可変	1 チェック対象を表す。 2 チェック対象の詳細を第3章の別表1に示す。 3 当該項目の値は省略しない。 4 最大10文字まで設定する。
4	チェック観点	漢字	40	可変	1 チェック観点を表す。 2 チェック観点の詳細を第3章の別表2に示す。 3 当該項目の値は省略しない。 4 最大20文字まで設定する。
5	チェック内容	漢字	2048	可変	1 チェックする内容を文章にて表す。 2 当該項目の値は省略しない。 3 最大1024文字まで設定する。
6	参照範囲	漢字	8	固定	1 レセプト参照の範囲を表す。 2 参照範囲の詳細を第3章の別表3に示す。 3 当該項目の値は省略しない。
7	医科点検対象	数字	1	固定	1 当該事例によるチェックを医科レセプトに対して実施しているか否か、また、実施している場合、対象とするレセプト種別をコードで表す。 <コード内容> 0：未実施 1：入院レセプトのみ実施 2：入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)のみ実施 3：入院レセプト及び入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)に実施 2 当該項目の値は省略しない。

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
8	DPC点検対象	数字	1	固定	<p>1 当該事例によるチェックをDPCレセプトに対して実施しているか否か、また、実施している場合、対象とするレセプト種別をコードで表す。</p> <p>&lt;コード内容&gt;</p> <p>0：未実施</p> <p>1：総括対象DPCレセプトのみ実施</p> <p>2：総括対象医科入院レセプトのみ実施</p> <p>3：総括対象DPCレセプト及び総括対象医科入院レセプトに実施</p> <p>2 当該項目の値は省略しない。</p>
9	歯科点検対象	数字	1	固定	<p>1 当該事例によるチェックを歯科レセプトに対して実施しているか否か、また、実施している場合、対象とするレセプト種別をコードで表す。</p> <p>&lt;コード内容&gt;</p> <p>0：未実施</p> <p>1：入院レセプトのみ実施</p> <p>2：入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)のみ実施</p> <p>3：入院レセプト及び入院外レセプト(突合点検の調剤を含む。)に実施</p> <p>2 当該項目の値は省略しない。</p>
10	調剤点検対象	数字	1	固定	<p>1 当該事例によるチェックを調剤レセプトに対して実施しているか否かをコードで表す。</p> <p>&lt;コード内容&gt;</p> <p>0：未実施</p> <p>1：実施</p> <p>2 当該項目の値は省略しない。</p>
11	根拠	漢字	40	可変	<p>1 根拠となる規定等が記載されている告示及び通知等を表す。</p> <p>2 根拠の詳細を第3章の別表4に示す。</p> <p>3 当該項目の値を省略する場合がある。</p> <p>4 最大20文字まで設定する。</p>
12	チェック根拠	漢字	2048	可変	<p>1 チェック根拠を文章にて表す。</p> <p>2 当該項目の値は省略しない。</p> <p>3 最大1024文字まで設定する。</p>
13	事例コード	英数	13	固定	<p>1 事例ごとに任意に設定したコードを表す。</p> <p>2 当該項目の値は省略しない。</p> <p>3 当該項目を第2ソートキーとする。</p>
14	公開年月日	数字	8	固定	<p>1 当該事例の公開年月日をYYYYMMDD形式で表す。</p> <p>2 当該項目の値は省略しない。</p>

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
15	変更区分	数字	1	固定	<p>1 当該事例の変更状況をコードで表す。            &lt;コード内容&gt;            0：前回公開と同一内容            1：抹消            3：新規            5：変更            9：廃止</p> <p>2 「1：抹消」及び「9：廃止」については、次回公開時に当該事例を削除する。</p> <p>3 変更区分の詳細を第3章の別表5に示す。</p> <p>4 当該項目の値は省略しない。</p>
16	マスタファイル参照先区分	数字	2	可変	<p>1 当該事例の参照するマスターをコードで表す。            &lt;コード内容&gt;            0：参照するマスタなし            1：医薬品適応関連マスタファイル            2：医科診療行為傷病名関連マスタファイル            3：歯科診療行為傷病名関連マスタファイル</p> <p>2 マスタファイル参照先区分の詳細を第3章の別表6に示す。</p> <p>3 当該項目の値は省略しない。</p>
17	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
18	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
19	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
20	予備5	英数	1	可変	未使用：省略

## (2) 医薬品適応関連マスタファイル

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
1	医薬品コード	数字	9	固定	1 チェック対象となる医薬品コードを表す。 2 当該項目の値は省略しない。
2	傷病名コード	数字	7	固定	1 当該医薬品の対象となる傷病名コードを表す。 なお、外れ値1～3がチェック対象としている診療識別等を第3章の別表7に示す。 <コードの内容> 0000000: 傷病名を条件しない数量又は投与日数のチェック 0000001: 外れ値1 0000002: 外れ値2 0000003: 外れ値3 0000004: 新医薬品の投与日数制限に関するチェック その他 : 傷病名コード 2 当該項目の値は省略しない。
3	予備1	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
5	性別	数字	1	固定	1 当該医薬品の対象となる性別コードを表す。 <コード内容> 0 : 男女共通 1 : 男 2 : 女 2 当該項目の値は省略しない。
6	年齢（下限）	数字	6	可変	1 当該レコードがチェックの対象とする年齢範囲の下限値を表す。 2 [XXX.XX]形式（整数部3桁+小数部2桁）で値を設定する。 3 当該項目の値は省略しない。
7	年齢（上限）	数字	6	可変	1 当該レコードがチェックの対象とする年齢範囲の上限値を表す。 2 [XXX.XX]形式（整数部3桁+小数部2桁）で値を設定する。 3 当該項目の値は省略しない。
8	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
9	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
10	予備5	英数	1	可変	未使用：省略
11	予備6	英数	1	可変	未使用：省略
12	予備7	英数	1	可変	未使用：省略

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
13	最大投与量	数字	11	可変	<p>1 当該医薬品・傷病名を対象とした数量等のチェックに使用している値を表す。</p> <p>2 [XXXXX.XXXXX]形式(整数部5桁+小数部5桁)で値を設定する。            &lt;コード内容&gt;            99999.99999:チェック対象外            上記以外:チェックに使用している値</p> <p>3 当該項目の値は省略しない。</p>
14	予備8	英数	1	固定	未使用:省略
15	最長投与日数	数字	3	可変	<p>1 当該医薬品・傷病名を対象とした日数等のチェックに使用している値を表す。</p> <p>2 [XXX]形式(整数3桁)で値を設定する。            &lt;コード内容&gt;            999:チェック対象外            上記以外:チェックに使用している値</p> <p>3 当該項目の値は省略しない。</p>
16	予備9	英数	1	可変	未使用:省略
17	予備10	英数	1	可変	未使用:省略
18	予備11	英数	1	可変	未使用:省略
19	予備12	英数	1	可変	未使用:省略
20	予備13	英数	1	可変	未使用:省略
21	予備14	英数	1	可変	未使用:省略
22	予備15	英数	1	可変	未使用:省略
23	参照範囲	漢字	8	可変	<p>1 レセプト参照の範囲を表す。</p> <p>2 参照範囲の詳細を第3章の別表3に示す。</p> <p>3 当該項目の値は省略しない。</p>



## (3) 医科診療行為傷病名関連マスタファイル

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
1	医科診療行為コード	数字	9	固定	1 チェック対象となる診療行為コード 2 当該項目の値は省略しない。
2	傷病名コード	数字	7	固定	1 当該診療行為の対象となる傷病名コードを表す。 2 当該項目の値は省略しない。
3	予備1	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
5	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
6	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
7	年齢（下限）	数字	6	可変	1 当該レコードがチェックの対象とする年齢範囲の下限値を表す。 2 [XXX.XX]形式（整数部3桁+小数部2桁）で値を設定する。 3 当該項目の値は省略しない。
8	年齢（上限）	数字	6	可変	1 当該レコードがチェックの対象とする年齢範囲の上限値を表す。 2 [XXX.XX]形式（整数部3桁+小数部2桁）で値を設定する。 3 当該項目の値は省略しない。
9	性別	数字	1	固定	1 当該診療行為の対象となる性別コードを表す。 <コード内容> 0：男女共通 1：男 2：女 2 当該項目の値は省略しない。
10	入外区分	数字	1	固定	1 当該診療行為の対象となる入外区分コードを表す。 <コード内容> 0：入院レセプト及び入院外レセプト 1：入院レセプトのみ 2：入院外レセプトのみ 2 当該項目の値は省略しない。
11	疑い病名	数字	1	固定	1 当該診療行為の対象となる疑い病名区分コードを表す。 <コード内容> 0：確定病名及び疑い病名 1：確定病名のみ 2：疑い病名のみ 2 当該項目の値は省略しない。

## (4) 歯科診療行為傷病名関連マスタファイル

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
1	歯科診療行為コード	数字	9	固定	1 チェック対象となる歯科診療行為コード 2 当該項目の値は省略しない。
2	予備1	英数	1	可変	未使用：省略
3	予備2	英数	1	可変	未使用：省略
4	予備3	英数	1	可変	未使用：省略
5	予備4	英数	1	可変	未使用：省略
6	予備5	英数	1	可変	未使用：省略
7	予備6	英数	1	可変	未使用：省略
8	予備7	英数	1	可変	未使用：省略
9	予備8	英数	1	可変	未使用：省略
10	予備9	英数	1	可変	未使用：省略
11	予備10	英数	1	可変	未使用：省略
12	傷病名コード	数字	7	固定	1 歯科診療行為の適応として設定している傷病名コードを表す。 2 当該項目の値は省略しない。
13	予備11	英数	1	可変	未使用：省略
14	予備12	英数	1	可変	未使用：省略
15	予備13	英数	1	可変	未使用：省略
16	歯式コード	英数	6	可変	1 チェックを行う対象の歯式コードを表す。
17	顎区分	英数	1	固定	1 当該歯式コードの顎コードを表す。 <コード内容> 0：無効 1：上顎 2：下顎
18	ブロック区分	英数	1	固定	1 当該歯式コードのブロック区分コードを表す。 <コード内容> 0：無効 1：上右 8-4 2：上前 3-3 3：上左 4-8 4：下右 8-4 5：下前 3-3 6：下左 4-8

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
19	乳歯・永久歯区分	英数	1	固定	1 当該歯式コードの乳歯・永久歯区分コードを表す。 <コード内容> 0：無効 1：永久歯 2：乳歯
20	歯種区分	英数	2	固定	1 当該歯式コードの歯種区分コードを表す。 <コード内容> 00：無効 12：切歯（前） 30：犬歯（前） 45：小臼歯（臼歯） 67：大臼歯（臼歯） 80：智歯
21	支台歯区分	英数	1	固定	1 当該歯式コードの支台歯区分コードを表す。 <コード内容> 0：無効 1：支台歯 2：支台歯以外
22	予備 14	英数	1	可変	未使用：省略
23	予備 15	英数	1	可変	未使用：省略
24	予備 16	英数	1	可変	未使用：省略
25	予備 17	英数	1	可変	未使用：省略
26	点検方法	英数	1	固定	1 当該傷病名コード又は歯式コードの集計した歯数をチェックする方法を表します。 <コード内容> 1：実施回数による確認 2：歯数上下限による確認 3：存在の確認 4：根管数回数上限確認（単根管、2根管、3根管以上） 5：根管数回数上限確認（単根管、2根管、3根管、4根管） 6：根管数存在確認（単根管、2根管、3根管以上）
27	歯数下限	英数	2	固定	1 当該歯科診療行為を確認時の歯数の下限を表す。 2 点検方法が2の診療行為のみ記録する。
28	歯数上限	英数	2	固定	1 当該歯科診療行為を確認時の歯数の上限を表す。 2 点検方法が2の診療行為のみ記録する。
29	予備 18	英数	1	可変	未使用：省略
30	予備 19	英数	1	可変	未使用：省略

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大バイト	項目形式	
31	予備 20	英数	1	可変	未使用：省略

### 第3章 別表

別表1 チェック対象

項目名	区分	内容
チェック対象	医科診療行為	医科診療行為をチェックの対象とする事例
	歯科診療行為	歯科診療行為をチェックの対象とする事例
	調剤行為	調剤行為をチェックの対象とする事例
	医薬品	医薬品をチェックの対象とする事例
	特定保険医療材料	特定保険医療材料をチェックの対象とする事例

別表2 チェック観点

項目名	区分	内容
チェック観点	回数	診療報酬点数表等において「〇〇に●●回を限度として算定する（に限り算定する）」等、算定単位ごとの算定回数が表示されている事例
	対象外算定	診療報酬点数表等において「〇〇に加算する」、「〇〇した場合に●●を算定する」、「〇〇を算定している患者に算定する」等と示されその要件を満たしていない事例
	背反	診療報酬点数表等において「〇〇を算定した場合には●●は算定できない」、「同時に算定できない」、「主たるもののみ算定する」等と示されている事例。ただし、「〇〇を算定した場合には●●に含まれ■●は算定できない」等、「含まれ」等の包括規定が記載されている場合は「包括」を優先する。
	包括	診療報酬点数表等において「含む」及び「含まれる」等と示されている事例
	適応	医薬品の添付文書（効能・効果）や診療報酬点数表等を基に支払基金内部の委員会において、コンピュータチェック用に選定した傷病名を適応として設定している事例
	用法・用量	医薬品の添付文書（用法・用量）において「〇〇年に●●回■●mg 投与する」、「投与期間は〇〇週間とする」等記載されている事例
	数量	材料価格基準等において「〇〇を限度として算定する」、「〇〇につき●●個のみ算定する」等示されている事例
	医学的必要性	医学（薬学）的見解に基づき、情報提供する審査の一般的取扱い等の事例
	歯数	診療報酬点数表等において、歯数等で算定点数又は算定回数が定められている事例
	その他	上記の観点に該当しない事例

別表3 参照範囲

項目名	区分	内容
参照範囲	単月	当月請求分のみ参照する事例
	入外	同一医療機関・同一患者に係る入院レセプトと入院外レセプトを参照する事例
	突合	同一医療機関・同一患者・同一診療（調剤）月に係る医科レセプト又は歯科レセプトと調剤レセプトを参照する事例
	縦覧	同一医療機関・同一患者に係る当月請求分レセプトと過去複数月のレセプトを参照する事例
	単入	「単月」及び「入外」の組み合わせ
	単突	「単月」及び「突合」の組み合わせ
	単縦	「単月」及び「縦覧」の組み合わせ
	単突縦	「単月」、「突合」及び「縦覧」の組み合わせ

別表4 根拠

項目名	区分	内容
根拠	医科診療報酬点数表	医科診療報酬点数表及び告示・通知を根拠とする事例
	歯科診療報酬点数表	歯科診療報酬点数表及び告示・通知を根拠とする事例
	調剤報酬点数表	調剤報酬点数表及び告示・通知を根拠とする事例
	診断群分類点数表	診断群分類点数表及び告示・通知を根拠とする事例
	療養担当規則	保険医療機関及び保険医療養担当規則を根拠とする事例
	医薬品添付文書	医療用医薬品添付文書を根拠とする事例
	材料価格基準	特定保険医療材料及びその材料価格を根拠とする事例
	厚生労働省事務連絡	厚生労働省事務連絡（疑義解釈資料等を含む。）を根拠とする事例
	審査情報提供事例	審査情報提供事例に関する事例
	外れ値	統計的手法等により算出した値を根拠とする事例

別表5 変更区分

項目名	区分	内容
変更区分	0：前回公開と同一内容	前回公開時と同一内容の事例
	1：抹消	設定しない
	3：新規	今回の公開で新規に追加した事例
	5：変更	今回の公開で変更した事例
	9：廃止	今回の公開で廃止した事例

別表6 マスタファイル参照先区分

項目名	区分	内容	ダウンロードファイル名
マスタファイル参照先区分	0：参照するマスターなし	参照するマスタのない事例	-
	1：医薬品適応関連マスタファイル	医薬品適応関連マスタファイルを参照する事例	CM_IY_Tekio.csv
	2：医科診療行為傷病名関連マスタファイル	医科診療行為傷病名関連マスタファイルを参照する事例	CM_SI_Shobyoy.csv
	3：歯科診療行為傷病名関連マスタファイル	歯科診療行為傷病名関連マスタファイルを参照する事例	CM_SS_Shobyoy.csv

別表7 傷病名コード

項目名	区分	内容				
		点数表	診療識別(剤型)	医薬品区分		
傷病名コード	0000001:外れ値1	医科 歯科(入院)	21:投薬(内服)	/		
			31:注射(皮下筋肉内)			
			32:注射(静脈内)			
			33:注射(その他)			
		医科	28:投薬(その他)			
		歯科(入院外)	21:投薬・注射		1:内服	
			80:全体のその他		1:内服	
			80:全体のその他		4:注射	
		調剤(突合)	01:内服薬		/	
			07:湯			
		0000002:外れ値2	医科 歯科(入院)		40:処置	/
					50:手術	
	54:麻酔					
	60:検査・病理					
	70:画像診断					
	歯科(入院外)		31:X線検査	5:麻酔処置手術等薬剤		
			41:処置・手術1	5:麻酔処置手術等薬剤		
			41:処置・手術1	7:歯科特定薬剤		
			42:処置・手術2	5:麻酔処置手術等薬剤		
			42:処置・手術2	7:歯科特定薬剤		
			43:処置・手術3	5:麻酔処置手術等薬剤		
			43:処置・手術3	7:歯科特定薬剤		
			44:処置・手術(その他)	5:麻酔処置手術等薬剤		
			44:処置・手術(その他)	7:歯科特定薬剤		
			54:麻酔	5:麻酔処置手術等薬剤		
			54:麻酔	6:歯科麻酔薬剤		
			61:修復・補綴1	5:麻酔処置手術等薬剤		
			62:修復・補綴2	5:麻酔処置手術等薬剤		
			63:修復・補綴3	5:麻酔処置手術等薬剤		
			64:修復・補綴(その他)	5:麻酔処置手術等薬剤		
			80:全体のその他	5:麻酔処置手術等薬剤		
			80:全体のその他	6:歯科麻酔薬剤		
04:注射			/			
05:外用						
06:浸煎						



別表7 傷病名コード (続き)

項目名	区分	内容		
		点数表	診療識別 (剤型)	医薬品区分
傷病名コード	0000003:外れ値3	医科 歯科 (入院)	14:在宅	/
			23:投薬 (外用)	
			80:その他	
		歯科 (入院外)	21:投薬・注射	3:外用
			80:全体のその他	3:外用
			80:全体のその他	7:歯科特定薬剤
		調剤 (突合)	02:内滴	/
			04:注射	
			05:外用	
			06:浸煎	